

校長氏名 阿久津 光生

1 自己評価の結果と分析

(1) 評価項目・内容等

学校評価の項目として、5つの内容に各3~6項目、計20項目の設問を設けて、生徒、保護者、教職員を対象にしてアンケート調査を行った。昨年度同様インターネット（グーグルホーム）によるアンケートを実施した。保護者からの回答は、163件で回収率は約83%という協力を得られた。各項目については5段階（1あてはまる、2ややあてはまる、3あまりあてはまらない、4あてはまらない5わからない）という回答欄を設けた。各項目は以下の20項目である。

A 学習指導について

- ①全体的に、教材や指導方法に工夫があり授業がわかりやすく行われている。
- ②全体的に、生徒が主体的に取り組み、考えさせる授業が行われている。
- ③学校は、学習評価・評定に関する情報をわかりやすく伝えている。

B 生活指導について

- ④生徒は明るく充実した生活を送っている。
- ⑤あいさつや授業規律など、「落ち着いた教育環境」の基盤ができています。
- ⑥先生方は、生徒の悩みを聞き、適切なアドバイスをしてくれる。
- ⑦先生方は、生徒の健康管理や安全に適切に取り組んでいる。

C 進路指導について

- ⑧学校は、進路について十分な情報提供をしている。
- ⑨学校は、職場体験や上級学校訪問などの進路学習に積極的に取り組んでいる。
- ⑩学校は、進路について親身になって相談にのってくれる。

D 特別活動等について

- ⑪学校行事では、生徒が意欲的に参加し、生徒同士が協力して行われている。
- ⑫部活動では、生徒が意欲的に参加し、活発に行われている。
- ⑬生徒会や委員会では、生徒が自主的・自発的に活動している。
- ⑭地域の行事やボランティア活動では、生徒が進んで参加・協力している。

E 学校運営について

- ⑮学校の教育目標や方針、骨組みの方向性などがわかりやすく示されている。
- ⑯学校の保護者・地域への説明責任を果たし、意見や要求に応えようとしている。
- ⑰学校は、学年・学校だよりやホームページなどで情報発信を積極的に行っている。
- ⑱学校の教育環境は安全で清潔に整備されている。
- ⑲学校は、公開授業の充実など、開かれた学校づくりに積極的に取り組んでいる。
- ⑳学校は、教職員の指導体制や協力体制がしっかりしている。

(2) 結果・分析

【評価 ◎○▲×の4段階】

A 学習指導について

【自己評価：B】 () は昨年度の値

【昨年度比較 一↑↓ で表記】

	項目	生徒		保護者		教職員		評価・比較
		肯定%	否定%	肯定%	否定%	肯定%	否定%	
1	教材や指導法の工夫	89(90)	7(7)	65(65)	4(7)	95(100)	0(0)	○ 一
2	主体的・考えさせる授業	91(91)	5(5)	62(68)	4(3)	95(100)	0(0)	○ ↓
3	評価・評定の情報	80(86)	4(8)	77(76)	2(10)	95(100)	0(0)	▲ ↓

B 生活指導について 【自己評価：A】

	項目	生徒		保護者		教職員		評価・比較
4	明るく充実した生活	96(94)	1(3)	85(87)	7(5)	100(100)	0(0)	◎ ー
5	挨拶や授業規律	85(88)	5(8)	82(84)	4(3)	95(93)	5(7)	○ ↓
6	悩みへのアドバイス	81(89)	3(4)	77(78)	3(8)	100(100)	0(0)	○ ↓
7	健康管理と安全	88(91)	4(4)	89(87)	2(4)	95(100)	0(0)	◎ ー

C 進路指導について 【自己評価：B】

	項目	生徒		保護者		教職員		評価・比較
8	進路の情報提供	88(80)	2(4)	74(65)	10(14)	91(100)	0(0)	○ ↑
9	積極的な進路学習	85(78)	7(5)	71(61)	5(9)	90(93)	0(7)	○ ↑
10	進路相談	85(78)	3(2)	68(57)	3(8)	100(100)	0(0)	○ ↑

D 特別活動等について 【自己評価：A】

	項目	生徒		保護者		教職員		評価・比較
11	学校行事の生徒協力	93(96)	5(0)	85(89)	3(3)	100(100)	0(0)	◎ ー
12	部活動の活発さ	91(93)	4(2)	74(81)	5(6)	95(100)	0(0)	○ ↓
13	生徒会・委員会の自主性	89(90)	1(2)	69(77)	1(1)	96(100)	0(0)	○ ー
14	ボランティア活動	89(87)	2(4)	75(72)	5(7)	95(100)	5(0)	◎ ー

E 学校運営について 【自己評価：B】

	項目	生徒		保護者		教職員		評価・比較
15	教育目標や方針の明示	86(90)	6(4)	77(78)	4(6)	100(100)	0(0)	○ ↓
16	保護者・地域への説明責任	82(76)	2(4)	89(83)	2(5)	96(100)	0(0)	○ ↑
17	情報発信	95(96)	0(0)	96(97)	0(1)	96(100)	0(0)	◎ ー
18	教育環境・安全・清潔	91(81)	2(13)	83(87)	5(5)	91(100)	0(0)	○ ー
19	公開授業・開かれた学校	93(88)	0(3)	97(95)	0(1)	96(100)	0(0)	◎ ↑
20	教職員の指導・協力体制	86(88)	5(3)	72(74)	1(7)	100(100)	0(0)	○ ー

2 改善の方策**全体を通して**

全体的に肯定的な評価が高く、学校への信頼度や評価は比較的安定していると考えられる。昨年度まで否定的な評価の割合が10%を越える項目が2つあったが本年度は生徒・保護者においてはなかった。今後も、課題を明確にして肯定的評価の割合を高められるよう取り組んでいく。

A 学習指導について

「授業のわかりやすさ」の設問では、肯定的評価が前年比で生徒が1ポイントの微減、保護者は同数値となった。次の「考えさせる授業」も同様の傾向が見られる。自宅学習等で保護者にも学習活動の様子がわかるよう、ICTのより一層の活用を軸に環境を整えていく。

B 生活指導について

明るく充実した学校生活については肯定的評価を多くいただいている。一方で、「性との悩みを聞き、適切なアドバイスをしてくれる」の項目で、生徒の肯定的評価は9ポイント減少した。これは、バス通学の関係から、放課後の時間の使い方に制約がある影響が出ているものと捉えている。相談や助言の時間やツールの確保について、研究を進めていく。

C 進路指導について

「進路に関する情報提供」については、肯定的評価が前年比で生徒が1ポイント微減、保護者で9ポイント増加となっている。保護者の「わからない」という評価も少なくなってきたので、今後も引き続き、学年だよりや進路だよりによる進路に関する情報提供に努めていく。

D 特別活動等について

地域の行事やボランティア活動については、肯定的評価が前年比で生徒が2ポイントの増加、保護者は3ポイントの増加となった。地域祭礼ボランティア活動には、延べ180名が参加し、全校生徒の9割にあたる。地域の方々から生徒の様々な活躍の場を提供していただいたおかげで地域愛を育むことができた。引き続き、ボランティア活動等への積極的な参加を促していく。

E 学校運営について

保護者・地域への説明責任に関する項目については、肯定的評価が前年比で生徒・保護者ともに6ポイントの増加となっている。学校の教育活動についてご理解・ご協力をいただいているとともに、学校ホームページやメール配信、各種たよりによる情報発信を評価していただいているものと捉えている。引き続き情報発信に努めていく。

令和 5 年度北区立堀船中学校 学校関係者評価報告書

令和 6 年 2 月 8 日

学校関係者評価委員会 委員長 小林 亜由美

1 学校関係者評価委員会の構成

小林亜由美（現本校 PTA 会長・学校関係者評価委員会委員長）

松本晴光（昭和町地区自治会連合会長）、石倉健一（前堀船町会自治会連合会長）、恒松晃（保護司）

議波壽男（青少年昭和町地区委員長）、太田 齊（青少年堀船地区委員長）、小宮山恵美（保護司）

以上 7 名

※本校の学校評議委員が学校関係者評価委員を兼ねている。

2 学校関係者評価委員会の主な活動

(1) 運動会 5 月 27 日

(2) 第 1 回学校評議員会 6 月 6 日 委嘱状は 4 月に校長が自宅に届ける。

学校の教育活動の進捗状況について説明と意見交換

(3) 少年の主張発表大会（堀船小学校体育館にて）10 月 14 日

(4) ほりふな祭（堀船小学校体育館にて）10 月 21 日

(5) 第 2 回学校評議員会 12 月 8 日（昭和町地域振興室にて）

(6) 学校評価アンケートへの協力（12 月）

(7) 第 3 回学校評議員会 2 月 26 日

学校の教育活動のふり返りと意見交換等

(8) 70 周年行事に向けて組織力の強化

3 学校関係者評価の結果と分析

(1) 学校関係者評価の内容と方法について

学校の自己評価の資料とした学校評価アンケート（生徒・保護者・教職員対象）と同じ項目のアンケートを学校関係者評価委員にも実施した。これらのデータをまとめた校長による自己評価報告と学校評議員会での意見交換内容をもとに学校関係者評価報告書をまとめた。

(2) 結果・分析

【評価 ◎○▲×の 4 段階】

A 学習指導について

【自己評価：B】

() は昨年度の値

【昨年度比較 —↑↓ で表記】

	項目	生徒		保護者		教職員		評価・比較
		肯定%	否定%	肯定%	否定%	肯定%	否定%	
1	教材や指導法の工夫	89(90)	7(7)	65(65)	4(7)	95(100)	0(0)	○ —
2	主体的・考えさせる授業	91(91)	5(5)	62(68)	4(3)	95(100)	0(0)	○ ↓
3	評価・評定の情報	80(86)	4(8)	77(76)	2(10)	95(100)	0(0)	▲ ↓

B 生活指導について

【自己評価：A】

	項目	生徒		保護者		教職員		評価・比較
		肯定%	否定%	肯定%	否定%	肯定%	否定%	
4	明るく充実した生活	96(94)	1(3)	85(87)	7(5)	100(100)	0(0)	◎ —
5	挨拶や授業規律	85(88)	5(8)	82(84)	4(3)	95(93)	5(7)	○ ↓
6	悩みへのアドバイス	81(89)	3(4)	77(78)	3(8)	100(100)	0(0)	○ ↓
7	健康管理と安全	88(91)	4(4)	89(87)	2(4)	95(100)	0(0)	◎ —

C 進路指導について

【自己評価：B】

	項目	生徒		保護者		教職員		評価・比較
		肯定%	否定%	肯定%	否定%	肯定%	否定%	
8	進路の情報提供	88(80)	2(4)	74(65)	10(14)	91(100)	0(0)	○ ↑

9	積極的な進路学習	85(78)	7(5)	71(61)	5(9)	90(93)	0(7)	○ ↑
10	進路相談	85(78)	3(2)	68(57)	3(8)	100(100)	0(0)	○ ↑

D 特別活動等について 【自己評価：A】

	項目	生徒		保護者		教職員		評価・比較
11	学校行事の生徒協力	93(96)	5(0)	85(89)	3(3)	100(100)	0(0)	◎ —
12	部活動の活発さ	91(93)	4(2)	74(81)	5(6)	95(100)	0(0)	○ ↓
13	生徒会・委員会の自主性	89(90)	1(2)	69(77)	1(1)	96(100)	0(0)	○ —
14	ボランティア活動	89(87)	2(4)	75(72)	5(7)	95(100)	5(0)	◎ —

E 学校運営について 【自己評価：B】

	項目	生徒		保護者		教職員		評価・比較
15	教育目標や方針の明示	86(90)	6(4)	77(78)	4(6)	100(100)	0(0)	○ ↓
16	保護者・地域への説明責任	82(76)	2(4)	89(83)	2(5)	96(100)	0(0)	○ ↑
17	情報発信	95(96)	0(0)	96(97)	0(1)	96(100)	1(0)	◎ —
18	教育環境・安全・清潔	91(81)	2(13)	83(87)	5(5)	91(100)	0(0)	○ —
19	公開授業・開かれた学校	93(88)	0(3)	97(95)	0(1)	96(100)	0(0)	◎ ↑
20	教職員の指導・協力体制	86(88)	5(3)	72(74)	1(7)	100(100)	0(0)	○ —
20	教職員の指導・協力体制	88(81)	3(4)	74(69)	7(4)	100(100)	0(0)	○ ↑

4 改善の方策及び意見交換会での主な内容

A 学習指導について

- ・全生徒バス通学になり、下校の時間も決められてしまっているが、「放課後学習教室」や、「長期休業中の図書室の開放」などの環境をさらに整えるよう努力してく。

B 生活指導について

- ・通学バスの発着場所でPTAの役員の皆さまの協力であいさつ運動をしていただけて大変ありがたい。子どもたちも日常的に明るく元気な挨拶ができています。子どもの安全・安心については学校・家庭・地域が一丸となって進めて行けるように連携していくことが大切である。

C 進路指導について

- ・高校入試の出願等もネットでおこなわれ、英語スピーチの導入等、めまぐるしく入試方法が変化しているので、その都度、学校からの情報提供が大切である。

D 特別活動等について

- ・地域祭礼ボランティア活動には、大勢の生徒が参加して、地域愛を育むことができた。改築ステーションに移転後もボランティア活動を盛んにおこなってくれている。今後も継続して欲しい。

E 学校運営について

- ・学齢期の子供がいない家庭では最近の中学校の様子がわからないが、PTAが会長を中心に良く動いてくれて情報が入ってくるので助かっている。PTA会長は学校と保護者、そして地域とのパイプ役で大切である。そして何より、同じ地区の小中3校のPTA間の協力が重要である。
- ・改築ステーションに移転で指定校変更や私立等、他校へ進学をする生徒が多いが、地域の活力として地域の学校に進学して欲しいと強く願う。将来的にも、地元の仲間が増えるので、大人になっても戻ってきやすい。そのためには、各ファミリーの小学校、地域の皆さんへのご協力を呼びかけ、広報活動を地道に努力していかなければならない。
- ・小規模校ながら、生徒がスポーツ面ばかりでなく、文化面での活躍が顕著に表れ、表彰がたくさん増えている。堀中生が活躍している様子が、移転後も地域の方に分かるように、地域掲示板を活用して、PRできるようになり良かった。